

ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|-----|------------------------------------|----------|------------------------|
| 学校名 | 松江市立湖東中学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 3年 | 総合的な学習 の時間 | 職場体験学習 | 松江市内の事業所の皆様 |
| ねらい | 職場体験学習を通して、働く人の姿から実社会で必要とされる力を考える。 | | |

1 取組の概要

- ① 特活と総合をリンクさせて、「働くことの意味」を自分なりに考える時間をもつ。
 - ・地域のひと・こと・ものを使う。
 - 「まつえ子ども夢☆未来塾」(TSKさんいん中央テレビのアナウンサー)
 - ・「よのなか科」などのWeb上の資料も利用する。
 - ・電話のかけ方・手紙の書き方などのマナー学習。
- ② 学年のテーマ「実社会で必要な力」とは何か。
 「実社会で必要な力」という大テーマの中で、各自のテーマを持つ。
 - ・自分に合った職業とは。・人はなぜ働くのか。・人はなぜ学ぶのか。・自分のよいところ。
 - ・あったらいいこんな仕事。(みんなが助かる、やり甲斐がある、収入アップ 等)
 - ・中学校卒業後の進路について。・幸せってなんだろう。・世の中の変化society5.0。
 - ・さまざまな働き方について。非正規雇用とは。・職業適性検査の結果から考えたこと。
- ③ 松江市内の各事業所で職場体験学習をする。
- ④ リーフレット形式でまとめ、クラスのメンバーと読み合う。
 「編集後記」として「自分の生き方について今思っていること」を書く。

2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

地域の方の日頃の努力を知ることができるよう、校区を中心に松江市内の事業所で職場体験学習をさせてもらった。また「まつえ子ども夢☆未来塾」の講師派遣も要請した。

(学力育成の視点から)

地域人材を活用し、プロの話を直接聞いたり技を直接見たりすることによって自分のキャリア形成について考えるきっかけとなるように働きかけた。

3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

職場体験学習を終えて、「地域の支えに気づいた」「地域の事業所を尊敬する」「将来の自分のイメージが湧いた」などの感想やまとめが見られた。

(学力育成の視点から)

「実社会で必要な力」についてまとめることを通じて自身のキャリア形成について考える力がついた。

4 課題や今後の展望

地域の中で学習させてもらえる機会を今後とも大切にしていきたい。

